

芸術学部の教員と学生が

大ヒット映画の制作に参画

大阪成蹊大学

大阪成蹊大学（大阪市）芸術学部の糸曾賢志学部長と同学部造形芸術学科イラストレーション・美術コースの唐仁原希講師、そして同学科イラストレーションコース4年次の金原早梨さん（大阪成蹊女子高等学校出身）が、9月17日より大ヒット上映中の映画「マスカレード・ナイト」の制作の一部に携わった。

マスカレード・ナイトは、数々の傑作ミステリーを世に送り出してきたベストセラー作家・東野圭吾氏が描くマスカレードシリーズの3作目。同シリーズは累計発行部数が



木村拓哉さんと長澤まさみさんが主演を務める映画「マスカレード・ナイト」

470万部を突破するなど、絶大な人気を誇っている。1

作目の「マスカレード・ホテル」は平成31年1月に実写映画化され、興行収入46・4億円の大ヒットを記録。手に汗握るストーリー性に加え、主人公の警部補・新田浩介役に俳優の木村拓哉さんが、ホテルのフロントクラーク・山岸尚美役に女優の長澤まさみさんが起用されるなど、大きな注目を集めた。2回目の実写映画化となる今作にも木村さんと長澤さんが引き続き起用されたほか、今回は新たに中村アンさんと田中みな実さん、石黒賢さん、

沢村一樹さんら豪華キャストが脇を固めた。そのため、公開前から大きな期待が寄せられ、現在は全国の映画館で盛況に上映されている。同大の教員と学

劇中の名場面をモチーフに唐仁原講師の世界観を表現した絵画



生が携わったパートは、糸曾学部長が劇中のアニメーションとCG映像を、唐仁原講師がエンディングのスタッフロ

ール映像内で使用される絵画を担当。金原さんは唐仁原講師の制作をサポートした。

同大の芸術学部は八つの専門的なコースを擁し、これまでに数多くの卒業生を輩出。社会から求められるものに対して、周囲の人々とコミュニケーションを図りながら、共同してモノづくりが行える人材の育成を目標に掲げている。現役のクリエイターとして活躍する教員を多数擁し、企業や自治体と連携した学びを積極的に展開している。今回の映画の制作に携わった金原さんにとっては、またとない貴重な経験につながったはずだ。